

基本課題8 家庭生活と職業生活その他の社会における活動の両立の支援(課題17～19)

課題17 仕事と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直し

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H21年度の審議会における意見・評価	
36	事業所における 育児・介護休業 制度の普及啓 発	広報・啓発活動	商工課	新潟労働局の育児・介護休業 制度の情報を提供するため、 ホームページをリンクさせる。	<p>・育児・介護休業法の改正により、父親の育児休業取得の促進や、育児にかかる短時間勤務制度の義務化、介護休暇制度の創設など、より一層の両立支援が図られたことにより、これらの改正内容について、広報さんじょうへ掲載するとともに、リーフレットの設置等、積極的に周知を行った。</p> <p>・(財)21世紀職業財団が実施する支援事業の一つに、仕事と家庭の両立を図る労働者を支援する事業主へ支給する助成金『育児・介護雇用安定等助成金』があるため、これに関するパンフレットを企業訪問調査の際に配布した。(約400事業所)</p> <p><b>【評価理由】</b> 広報さんじょうへの掲載や、企業訪問で啓発を行った。</p>		A			A

36	事業所における育児・介護休業制度の普及啓発	ワーク・ライフ・バランス講座の実施	商工課	「ワーク・ライフ・バランス講座の実施」 (財)21世紀職業財団新潟事務所及び燕市と共催で働きやすい職場環境づくりや両立支援助成金制度についての研修を実施する。 【工夫すること】 講座開催を広く周知するため、各団体と協力する。 【目標値】 参加人数30名	労働者が仕事と家庭を両立できる職場環境づくりを推進するための企業向けセミナー。ワーク・ライフ・バランスの推進について、具体的な取組方法や事例等を用いながら分かりやすく解説。育児参加しやすい職場風土改革についての情報提供を行うことを目的に(財)21世紀職業財団と燕市と共催により実施した。(H22.2.9実施、15名参加、テーマ『企業におけるワーク・ライフ・バランスの進め方』) 【目標値結果】 15名 【評価理由】 参加者が定員の半数だったため。	今年度は、広報さんじょうへの掲載とリーフレットを各庁舎・出先機関等に配布し周知に努めたが、来年度は更に広く(工業会短信の活用、商工会議所・商工会会報への掲載等)周知を行い、参加者を募ること。	B			B	
37	労働時間短縮についての情報提供・啓発	ワーク・ライフ・バランス講座の実施		施策No.36に同じ。				B			B
38	ファミリー・フレンドリー企業の普及啓発	ファミリー・フレンドリー企業の普及啓発		仕事と育児・介護とを両立している企業についての情報を収集し、ホームページに掲載する。 企業・事業所の訪問時や文書等を送付する際に、資料を配布する。	9月30日発行の『きょうさいだより』に「ハッピー・パートナー企業」の普及啓発について掲載し、勤労者福祉共済加入事業所会員に配布した。(395事業所・2904名)雇用等企業訪問調査事業で企業訪問した際に、「ハッピーパートナー企業募集」に関するパンフレットを約400事業所へ持参し説明した。 【評価理由】 今年度5社の新規登録があった。			A			A
		ワーク・ライフ・バランス講座の実施		施策No.36と同じ				B			B

課題18 子育て支援の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H21年度の審議会における意見・評価	
39	子育て支援サービス及び保育サービスの充実	次世代育成支援行動計画の推進	子育て支援課	次世代育成支援行動計画については、三条市こども未来委員会を設置し、計画内容の進行管理を行う。 また、上記委員会において、今後の子育て支援サービスのあり方等を検討することで、子育て環境の充実に努める。 <b>【工夫すること】</b> 男女共同参画の視点を持ちつつ、計画の進捗管理を行うこととする。	同計画については、三条市こども未来委員会において進行管理を行っている。 また、次代を担う子どもと子育て家庭に対する支援策を構築するため、次世代育成支援行動計画(後期行動計画)を現在策定中である。 <b>【評価理由】</b> 計画どおり行った		A			A
40	保育ルーム設置時のヘルパーの養成	ファミリーサポート支援事業提供会員養成講座	子育て支援課	民間団体において子どもを預かる方の資質向上を図るため、提供会員を養成するための講座を実施するもの。 <b>【工夫すること】</b> 内容も講義だけでなく、事例研究を交えるなど考える場面を多くし、より実践に則したものとなるよう努める。 <b>【目標値】</b> 受講者の団体登録率:80%	実施時期:1月～2月(5回) 講師:心理カウンセラー 山川洋子 ほか 新規会員養成のみならず、既会員の研修も兼ねて講座を実施。 定員20名 参加人数:32人(男6.3%、女93.7%) <b>【目標値結果】</b> 22.2% <b>【評価理由】</b> 目標値を達成できなかったため		C			C

41	子育てに関する学習機会の提供	パパとママの子育て教室の実施	子育て支援課	<p>○子育て応援隊 ホットタイム代表 伊藤弘子さんによる講話 「子育てについて父親、母親の役割」(家庭教育の実際) ○保健師による講話 ・丈夫な赤ちゃんを育てるために ・赤ちゃんが生まれてからの手続きについて ○グループによる意見交換 ○新生児の人形を使って着替え、抱っこ、おむつ交換の実習</p> <p><b>【工夫すること】</b> 初めてのパパとママの子育て学級と妊娠期子育て講座を統合し経産婦も含めて開催し、子育ての意識を妊娠期より高める。</p> <p><b>【目標値】</b> 夫婦受講率:18.0%</p>	<p>参加人数 119組 <b>【目標値結果】</b> 受講率:14.1% <b>【評価理由】</b> 目標値の77.8%の参加率であったためB評価とした。</p>	<p>内容が多く参加者に伝えたい目的を明確にするため、家庭教育の講話を中心にする。参加者が少ない為開催回数を年6回とし、開催時間を金曜日の夜に実施する。父親の関心度の高い実習が主なマタニティー教室を土曜の午前に行う。</p>	B			B
		育児講座		<p>市内6か所の保育所・保育園の子育て支援センターにおいて、子育てに関する知識・情報の提供等のための育児講座を実施する。</p> <p><b>【工夫すること】</b> 家庭でも実践できる内容を盛り込むよう努める。</p> <p><b>【目標値】</b> 育児講座年6回以上開催</p>	<p>子育てに関する講話、親子エアロビクス、栄養指導等多岐にわたる内容で子育てに関する知識・情報を提供するための講座を実施した。</p> <p><b>【目標値結果及び評価理由】</b> 市内6か所の子育て支援センターで、年6回以上育児講座を実施し、保護者への知識・情報普及に努めている。</p>		A			A

41	子育てに関する学習機会の提供	しみん食育と農業のつどいの実施	健康づくり課	<p>実施時期:平成21年10月17日(土)</p> <p>会場:農村環境改善センター</p> <p>内容:講演『『弁当の日』で何が育つか』</p> <p>講師:香川県綾川町立綾上中学校 竹下和男校長</p> <p>・弁当にピッタリ!我が家自慢のおかずコンテスト審査・表彰式</p> <p>【工夫すること】</p> <p>男女年齢問わず参加しやすいように、試食などを取り入れるなど内容を工夫する。</p> <p>【目標値】</p> <p>参加者へのアンケートにおいて、「よかった」と回答する者の割合が80%以上</p>	<p>参加人数:250人</p> <p>【目標値結果】</p> <p>「講演会によって新たな発見がたくさんあった」と回答する者の割合が72.0%であった。</p> <p>【評価理由】</p> <p>目標値の結果は目標値の90%の達成であったため</p>	他組織が開催する事業と同時開催し、集客を行った。次年度も多くの団体と協力して進めていきたい。	A			A
	家庭教育講座の実施	生涯学習課(中央公民館)	<p>家庭教育支援事業として、シリーズ性のある講座やより深く学びたい方を対象とした講座を開催。</p> <p>【工夫すること】</p> <p>誰でも参加できるよう開催日及び時間(土曜日・夜間)などを工夫する。</p> <p>【目標値】</p> <p>アンケートでの満足度「とてもよかった」「よかった」の回答が7割以上</p>	<p>子育てにおける絵本の大切さについて、2回シリーズで講座を開催。</p> <p>とき:1月26日、2月2日</p> <p>講師:児玉イツ子</p> <p>参加人数17人(定員20名)</p> <p>【目標値結果】</p> <p>「とてもよかった」100%</p> <p>【評価理由】</p> <p>目標値を達成した</p>	当初、父親や働いている人の参加を促すため土曜や夜間の開催を検討していたが、7月の「笑顔で子育て講座」が参加者が少なく土曜開催が中止になったことから、この講座も平日開催にした。父親の参加に向けた工夫の検討が必要。	A			A	

41	子育てに関する学習機会の提供	笑顔で子育て講座の実施	生涯学習課 (中央公民館)	<p>実施時期:①7月9,16,22日(平日開催) ②7月11,18,25日(土曜開催) 時間:いずれも10時~11時30分 実施対象・・・乳幼児の保護者及び育児に関心のある方 内容①「あわてないで!だいじょうぶ!」消防本部職員 ②「新型インフルエンザ対策及び県央医師会応急診療所の利用」健康づくり課職員 ③「笑顔で楽しく子育て!」元新潟市保育園園長 児玉イヅ子さん</p> <p><b>【工夫すること】</b> 働いている方も参加しやすいように平日と土曜日で2回開催する。</p> <p><b>【目標値】</b> アンケートでの満足度「とてもよかった」・「よかった」の回答が7割以上</p>	<p>実施日が平日のものは計画どおり開催したが、働いている人や父親の参加を考え土曜日に実施日を設定した方は、申込がほとんどなく中止となった。</p> <p><b>【目標値結果】</b> 90%</p> <p><b>【評価理由】</b> 目標値は達成したが、平日開催は定員20名のところ10人の参加者であった。土曜開催は中止となったこともあり、B評価とした。</p>	働いている方や父親も参加しやすいように土曜日の開催も計画したが、希望者が少なく中止となった。小さい子どもの体調によって欠席もあり、より多くの方から参加してもらえよう、開催内容・時期等の検討が必要	B			B
42	保育ルームの設置	保育ルームの設置	子育て支援課 市民窓口課 生涯学習課	より多くの方が安心して参加してもらえるように、各講座、フォーラム等に保育ルームを設置する。また、各課宛に市民窓口課から保育ルームの設置の依頼を予算要求事務の時期に行う。	各講座や講演会等の開催時には、保育ルームの設置をしている。 また、予算要求事務を行う時期にあわせ、市民窓口課から各課宛に講座や講演会の開催にあたっては保育ルームを設置するように文書で周知した。 <b>【評価理由】</b> 保育ルームの設置はほぼ行われている。		A			A

課題19 家庭生活における男女共同参画の促進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H21年度の審議会における意見・評価
43	男女共同参画意識を高める家庭教育の推進	地域虐待対応研修会	子育て支援課	<p>子どもの虐待に対する理解を深め、予防・進行防止・再発防止を目指す在宅養育支援について講演を行う。</p> <p>・時期:11月予定 ・対象:市民とネットワーク関係機関の関係者</p> <p><b>【工夫すること】</b> 市民が参加しやすい内容にする</p> <p><b>【目標値】</b> 参加者数の増加(昨年124名)</p>	<p>目的:市民に虐待予防を周知することを目的に講演会を実施</p> <p>とき:2月5日(金)19:00～21:00</p> <p>会場:三条総合福祉センター</p> <p>演題:「つながろう、子どもの笑顔のために」</p> <p>講師:長岡中央総合病院小児科部長 田中 篤 氏</p> <p><b>【目標値結果】</b> 参加者数:H21年度 107人(H20年度 124人)</p> <p><b>【評価理由】</b> 申込時点では、昨年度を上回る参加者見込みであったが、当日は50cm以上の降雪のあった悪天候であったため、キャンセルが相次ぎ、結果として前年度を下回ってしまった。それにもかかわらず、107人の参加者があったことは、市民が少しずつ、虐待に対し関心を持ってきていることが伺われ評価できると考える。また、アンケート結果で「大変ためになった・ためになった」が88.3%と高いことからA評価とした。</p>	<p>虐待を見つける力・虐待の疑いの大切さについて、早期発見・早期介入の重要性を理解する講演について検討していく。</p>	A		A

43	男女共同参画意識を高める家庭教育の推進	家庭教育講座	子育て支援課	<p>家庭の教育力支援の一環として、保護者等が家庭教育や家庭のあり方についての知識や課題を学ぶことで、家庭の教育力の向上を図る。実施内容など詳細については、調整中。</p> <p><b>【工夫すること】</b> 家庭教育講座を進めるにあたり、アンケートをとるなどして、講座の満足度や男女共同参画の意識向上の度合いを確認し、内容の充実に努める。</p> <p><b>【目標値】</b> 講座満足度:80%以上</p>	<p>・保育所21所、小学校24校 演題:「あなたが、“出来ない”子にしていますか？」</p> <p>・中学校7校 演題:「親は最強サポーター」</p> <p>・講師:ガレッジ1 子育てコーチ 水科江利子ほか</p> <p>・小学校のみ終了(小学校就学時子育て講座) 参加人数 850人(男4.4%、女95.5%)</p> <p><b>【目標値結果】</b> 「とても役に立った・役に立った」91.0%(小学校実施分)</p> <p><b>【評価理由】</b> 目標値を大きく上回って達成できたため。</p>					A
		パパとママの子育て教室の実施	子育て支援課	施策No.41に同じ。						B
		家庭教育講座の実施	生涯学習課(中央公民館)	施策No.41に同じ。						A
		笑顔で子育て講座の実施	生涯学習課(中央公民館)	施策No.41に同じ。						B



44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	パパとママの子育て教室の実施	子育て支援課	施策No.41に同じ。			B		B
		認知症サポーター等養成事業の実施	高齢介護課	<p>○実施時期・・・平成21年4月～平成22年3月</p> <p>○内容・・・</p> <p>・認知症サポーター養成講座の実施</p> <p>・講師:キャラバン・メイト</p> <p><b>【工夫すること】</b></p> <p>講座において、男女問わず認知症の人やその家族の気持ちを理解し、地域で支える必要があるということ伝える。</p> <p><b>【目標値】</b></p> <p>サポーター数450人</p>	<p>認知症サポーター養成講座の実施</p> <p>講師:キャラバン・メイト</p> <p>平成21年度(3月末現在)</p> <p>実施回数:58回</p> <p>受講者数(サポーター数):女性1,268人、男性928人、計2,196人</p> <p><b>【目標値に対する結果】</b></p> <p>サポーター数2,196人</p> <p><b>【評価理由】</b></p> <p>サポーター数が目標値を大きく上回ったため。</p>	<p>学校や企業への講座受講をどう働きかけていこうかが課題である。</p>	A		A
		男の料理教室の実施	健康づくり課	<p>※ 食生活改善推進委員主催の事業の支援を行う。</p> <p>・第三中学校区(6月5日)</p> <p>・第一中学校区(10月24日、11月14日)</p> <p><b>【工夫するところ】</b></p> <p>周知について、多くの方に参加してもらえよう、声かけを行う。</p>	<p>食生活改善推進委員主催の事業の支援を行う。</p> <p>・第三中学校区(体育文化センター)</p> <p>6月5日実施 13人参加</p> <p>・第一中学校区(嵐南公民館)</p> <p>10月24日実施 13人参加</p> <p>11月14日実施 21人参加</p> <p><b>【評価理由】</b></p> <p>食推は、地域の男性へ積極的に声かけを行っていた。参加者数は伸び悩んだが、常連参加者もできて、地域での仲間作りの場になっている。</p>	<p>三中校区での開催は1回であったが、参加者から「もっと回数を増やして欲しい」との意見があった。</p> <p>一中校区の開催は2回目の参加が多かった。</p>	B		B

男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	男の料理教室の実施	生涯学習課 (井栗公民館)	<p>○実施時期…平成21年4月～平成22年2月</p> <p>○実施対象…井栗地区の男性</p> <p>○内容…</p> <p>・男性も家庭の中で、楽しみながら家事等に参加できるように家庭料理を学ぶ。</p> <p>・定員10人</p> <p><b>【工夫するところ】</b> 基本的な料理作りから家庭の中で出来ることを見つけ、無理なく続けるようにする。</p> <p><b>【目標値】</b> アンケートの回答で「大変良かった」「良かった」が7割以上</p>	<p>4月13日 6名 5月11日 8名 6月8日 8名 7月6日 9名 9月14日 8名 10月5日 5名 11月9日 6名 12月14日 7名 (8月・1月は休講)</p> <p><b>【目標値結果】</b> 事業途中のためアンケート未実施</p> <p><b>【評価理由】</b> 事業が終了しておらずアンケートは未実施だが、話を聞いたところでは「良かった」との声が6割くらいだった為。</p>	参加者数のばらつきが多く、来年度は安定した参加者数を維持できるように努めたい。	B			B
		生涯学習課 (大崎公民館)	<p>○実施時期…平成21年5月～平成22年2月</p> <p>○実施対象…大崎・保内地区の男性</p> <p>○内容…</p> <p>・男性も家庭の中で、楽しみながら家事等に参加できるように基本的な料理の基礎知識・技術の習得を図る。</p> <p>・定員15人</p> <p><b>【工夫するところ】</b> ご飯を炊く、だしを取るといった基本的なことから、片付け洗い物など普段手を出さなかったことまで皆さんと無理なくやれるようにする。</p> <p><b>【目標値】</b> アンケート満足度で「大変良かった」「よかった」の回答が7割以上</p>	<p>参加人数 5月:9人、6月:11人 7月:10人、9月:8人 10月:7人、11月:9人 12月:9人、1月:8人 2月:11人</p> <p><b>【目標値結果】</b> 満足度100%</p> <p><b>【評価理由】</b> 目標値を達成できた。また、受講者も大変意欲的に取り組んでいた。</p>	今年度で2年目なので次年度以降は慣れてきた人、初めての人との班編成に工夫し、参加者が楽しめ、参加率が伸びるようにしたい。	A			A

44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	男性料理講習会の実施	<p>○実施時期・・・9月・12月</p> <p>○実施対象・・・20歳以上の男性</p> <p>○内容・・・</p> <p>・男性も家事に参加してもらえるよう男性を対象とした料理の講習会を実施する。</p> <p>・会場:大島公民館 料理実習室</p> <p>・講師:栄養士</p> <p><b>【工夫すること】</b></p> <p>広報について工夫し、多くの方が興味を持って参加してもらえるようにする。内容もこれなら家で作れそうだというような簡単に、美味しいものを講師と相談してメニューに取り入れる。</p> <p><b>【目標値】</b></p> <p>アンケートの満足度、達成度が(5段階評価)4、5が70%以上</p>	<p>①9月5日 参加人数 5人</p> <p>②12月5日は、申し込みが3人だったので中止とした。</p> <p><b>【目標結果】</b></p> <p>9月5日 アンケート結果 満足度 5(とてもよかった) 100%</p> <p>達成度 5(料理を作る楽しさを知った) 100%</p> <p><b>【評価理由】</b></p> <p>9月は目標値は達成したが、参加者が定員の半数であり、12月は中止になったので男女共同参画の推進に繋がらないとしてB評価とした。</p>	<p>・適切な内容</p> <p>・広報活動</p>				B
		生涯学習課(下田公民館)	<p>○実施時期・・・平成21年6、7、8月(予定)</p> <p>○実施対象・・・下田地区在住の男性</p> <p>○内容・・・</p> <p>・男性も家庭の中で、楽しみながら家事等に参加できるように簡単な料理の基礎を学ぶ。</p> <p>・定員10人</p> <p><b>【工夫するところ】</b></p> <p>基本的な料理作りから家庭の中で出来ることを見つけ、無理なく続けるようにする。</p> <p><b>【目標値】</b></p> <p>アンケート満足度で「大変よかった」「よかった」の回答が7割以上</p>	<p>参加人数8人</p> <p><b>【目標値結果】</b></p> <p>アンケート結果 「とても楽しかった」「よかった」80.0%</p> <p>「家庭で料理をするきっかけとなった」80.0%</p> <p><b>【評価理由】</b></p> <p>目標値を達成できた。</p>	<p>要望のあったメニューを取り入れて献立をつくる。主に夜間、休日に開催する。(日中仕事をしているかたが参加できるように)</p>				A

44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	プレママ・プレパパ応援講座	市民窓口課	<p>時期:8月9日(日) 会場:総合福祉センター 対象:妊娠中の夫婦 内容:妊娠を期に、夫に家事に参画してもらえるよう、夫に料理を学んでもらう。 【工夫したところ】 ひとりでは、男性は講座に参加しにくいとため、妻にはリンパマッサージの講座を用意し、夫の参加を促す。 講師は、ネットワーク三条加盟団体の(社)新潟県栄養士会三条支部にお願いした。 【目標値】 定員20組の達成。及び、夫の家事への関心度アップ</p>	<p>参加者 6組(申込7組、定員20組) 【評価理由】 目標とした定員20組には達しなかったが、アンケート結果から、参加者が料理に対する関心度がアップしたと感じる。 大変良い・良い100% これからも料理を作りたい83.3% 【資料7】 (2ヵ月後の事後アンケート)</p>	<p>参加者の評価は良かったが、参加者が少なかったもので、男性向けの講座では、内容、広報に更なる工夫が必要だと痛切に感じた。</p>	C			C
		パパの絵本読み聞かせ講座	市民窓口課	<p>時期:10月10日(土) 会場:すまいるランド 対象:父と子20組 講師:つくし保育園 外山信男先生 内容:絵本の読み聞かせや、家で実践できる遊びを子供と一緒に楽しみながら学んでもらう。 【工夫するところ】 父親が対象の場合、講義形式では集客が困難なため、子供と一緒に楽しむ形式で行う。即、実践できる内容に努める。また、今年度オープンした「すまいるランド」を会場に設定した。 【目標値】 定員20組の達成。</p>	<p>参加者 12組 35人 (うち、父親6人) 参加されている、父親たちは非常に楽しんでいる様子であった。父親自らの申込もあった。 【評価理由】 父親の参加が少なかったため。</p>		C			C

44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	パパと遊ぼう	<p>時期:11月23日(祝日)          会場:総合福祉センター          対象:父と未就園児30組          内容:手遊びや体を使っての遊びを一緒に楽しむ  <b>【工夫すること】</b>          ネットワーク三条加盟団体の「NPO法人おやこ劇場」の協力で実施する。  <b>【目標値】</b>          定員30組達成。</p>	<p>参加者:14組(パパ14人、ママ6人、子供16人)  <b>【評価理由】</b>          定員の46%の参加率だったため。</p>					C
		ひとひとフォーラムの実施	No.19と同じ						B